

なな

10月号
vol. 128



洗 剤

LESTEF
CO., LTD.

OSAKA (06) 396-0181
TOYO (06) 461-1480
SAPPORO FUKUOKA
NAGOYA KANAZAWA
NIPPON MATSUYAMA

LESTEF
CO., LTD.

OSAKA (06) 396-0181
TOYO (06) 461-1480
SAPPORO FUKUOKA
NAGOYA KANAZAWA
NIPPON MATSUYAMA

特集

区界浄土

ニシナリパラダイス

「コインランドリーにて」
松2丁目付近にて撮影



特集

区界浄土

ニシナリパラダイス

1 天下茶屋公園の塔心礎 とうしんそ

地図帳の凡例では、市区町などを分ける境界線を「市区町村界」と称し、二点破線(---)であらわす。西成区は6つの行政区(大正・浪速・天王寺・阿倍野・住吉・住之江)と接し、西は木津川、東は上町台地、北は鉄道ターミナル、南は港湾部に誘導する動線をもつ街である。「なび」創刊当初「しなりの境界線」というシリーズを掲載した。西成に接する境界線上に何かを発見する試みだった。そしてあらためて境界シリーズ「区界浄土 ニシナリパラダイス」を考えてみた。

区界線プロジェクト
佐々木敏明 / 安田拓也

天下茶屋公園の謎

西成区内を南北に走る紀州街道は、隣接する阿倍野区の区界(境界)線から200mほど西を並走している。その紀州街道が松虫通りと交差する南方角に天下茶屋公園が

見え、古く大坂(阪)ー紀州間を結び、安土桃山時代には住吉大社参拝途中の太閤秀吉が茶寮として利用した場所だ。現在は校の名所として地域の人たちに親しまれている。この公園の中央付近には、明治天皇顕彰の大きな石碑が建ち、そばには、真ん中に円形の穴を持つ不思議な石盤が置かれ、「阿部寺塔心礎」と記される掲示板には「この石は阿部寺の塔の核となる礎石と考えられ、当初は阿倍野区松崎町にあったが、天下茶



天下茶屋公園の塔心礎

屋の地に移された」との由緒書きがある。私は以前にこの不思議な石盤を見ていて、なぜ阿倍野にあったものがこの地に移動してきたのか不思議に思っていた。今回の区界シリーズを契機に、「なび」スタッフの安田君を伴い、先ず原点となる阿部寺探しをはじめた。

タバコ屋さんのアドバイス

庚申街道を中心に阿倍野区松崎町周辺を探索する。阿部寺は、阿倍仲麻呂、安倍晴明などの子孫を持つ豪族阿部氏が、この地に権勢のあつた7世紀の飛鳥時代に建立したという。天下茶屋公園の表示板に「阿倍野区松崎町の松長大明神一帯に存在した」と語られるものの、松崎町近隣の人たちもその寺名や大明神のありかさえ知らず、私たちの阿部寺探しは迷走しかけていた。

この周辺は近鉄阿倍野橋駅、JR天王寺駅に近く、マンション群がひしめき、私自身十代の頃よく通った住宅景観からは変貌している。人の流入、高齢化とともに昔ながらの住人も少なくなっているのだ。そこ

ある阿部寺跡と推定される。現在礎石は西成区天下茶屋公園にある」と記されていて、やっと私たちの探索する原点の地と礎石移設地が一致した。

阿部寺展示スペース

そしてこの祠の北隣に大規模な高層のマンションを発見する。おそらくこのマンションを中心とした一帯が、権勢を誇る阿部氏建立の阿部寺の場所と確信。マンションの管理人が、玄関口から建屋内にある小規模な「展示スペース」へと案内してくれた。マンション1階のひと隅には周辺で発掘された瓦や土師器、青磁碗、白磁碗などの出土品が展示されていた。住宅開発の直前に古代寺院や文物が発見され、自社物件内に展示したと思われる。ここで資料となるチラシを受けると、想像していた通り、遺跡調査が実施されていたことが書かれていた。

その内容を概略すると、発掘場所Ⅱ：iマシオン。発掘年月Ⅱ1999(平成11)年6月〜2001(平成13)年3月。マンション建設時、現場地下より発掘。発掘物品Ⅱ



松長大明神(阿部寺跡推定地碑)

松崎町の地藏尊

で、当該町内に長く定住する米屋・酒屋など、近隣事情に明るい業者を探しはじめた。そんな時、記憶に残るタバコ屋さんを発見した。何かを教えてくださいそうな予感がした。店の奥さんはこの地に70年在住しているが、阿部寺という名も遺跡発掘調査も知らないという。ところが面白い話を聞いた。「近隣に旧華族だったという人が住み、何かの事情でその土地を不動産会社に譲渡した。そのころiマシオンの建設計画があり、近所の人から「こんなお地藏さんを建築現場みたいな場所から拾ってきた。どうしよう」という相談があり、町内で供養することに決まり、私の家の隣にお祀りした。数年前までは地藏尊の祭りで賑わった。よかつたら見て行って」と勧められ拝観した。目鼻の凹凸もわからない30〜40センチ程度の仏らしき石像が鎮座してまつられている。

松長大明神発見!

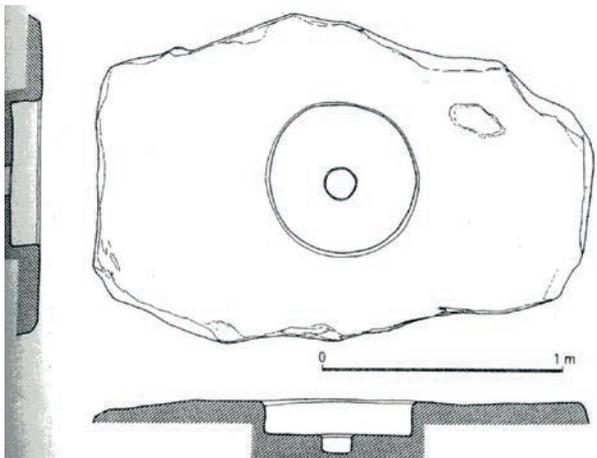
ひょっとしたら旧華族邸跡地(iマシオン立地)が、私たちの探す阿部寺遺跡のエリアではと想像したのだった。おそらくマンション計画が始まる前に、阿部寺の大規模

瓦類(蓮華文軒丸瓦/7世紀後半・飛鳥時代)など7点。その他(瓦質香炉/15世紀・室町時代)など4点。輸入磁器(青磁碗/15世紀・室町時代)など4点で、これらは展示スペースで見られる。発掘調査で7世紀後半から末にかけて建立されたとされる阿部寺も、その後16世紀前半頃には消滅していた。そして阿部寺の礎石が、天下茶屋公園にいつ、どうして移転されていたのかはまだ解明されていない。



松崎町iマシオン展示

な遺跡発掘調査が行われたのだ。お地藏さんはその時に出土したものかもしれない。「iマシオン」が何か教えてくれるかも」という奥さんの助言で、私たちは当マンションに急いだ。その道すがら安田君が天下茶屋公園の表示板にいう松長大明神を発見したのだ!猫の額ほどの狭い敷地内に小さな鳥居が建ち、見逃してしまいそうな祠だった。「阿部寺推定地」という石碑には「この辺りから塔心礎と考えられる礎石と白鳳平安時代の瓦が発見され、阿部氏の氏寺で



阿倍野塔心礎の実測図(新修大阪市史/資料編から)

塔心礎がなぜ天下茶屋へ?

これまでの塔心礎調査の動向を調べる。ウラ付け捜査だ。明山大華という学者が「住吉区天王寺町常盤通(現阿倍野区松崎町)に方形の高地あり、老松の下に礎石あり」として、塔心礎が阿倍野にあったことを記録している(『考古学雑誌』第23巻1号/1933(昭和8)年)。1949年には林野全考が实地調査を行い、戦前、田中茂久の調査でも礎石が確認されたと伝えている(『新修大阪市史』/資料編・第1巻)。

そして1998(平成10)年、1999年発掘調査でも、塔心礎の位置確認に関する報告があった(『大阪市埋蔵文化財発掘調査報告』/2001年)。戦後、塔心礎を所有していた高津久右衛門氏が、天下茶屋にあった高津邸を大阪市に寄付し、そのまま天下茶屋公園として整備されたという説もある。阿倍野と西成の区界線上に起きたミステリーである塔心礎の項は、この時点で残念ながら未完とお伝えしておきたい。

文責/佐々木敏明

虎 緩

おう

えん

だん



第5回

子育てに取り組む人・団体・施設を紹介して、子どもを支えるネットワークをどんどん広げていきます！

六年生はエメラルド！ 南津守タイガー



今回は南津守で活動している少年野球チーム「南津守タイガー」を紹介します。なんと今年で結成42年を向かえる伝統のあるチームで、結成当初は玉出で「玉出タイガー」として活動していました。メンバーに南津守の子どもが多く、また主に利用するグラウンドが南津守にあるので、現在の名称で活動されています。チームを指導して16年の北山代表に話を伺いました。

近畿大会に進出！

少子化やサッカー人気の影響で、少年野球に参加する子どもは減少傾向。以前は西

成区内でもたくさんさんの少年野球チームがありました。現在では3チーム程度にまで減ってきているそうです。南津守タイガーでも十数年前にメンバーが3名といった時期もあつたそうですが、現在のメンバーは小学校1〜6年生で64名です。南津守、天下茶屋、橘といった西成区内に住んでいる子どもが半分以上ですが、住之江区、大正区からも通う子どももいるそうです。そのうち女子も6名います。

今年のスポーツ少年団の大会では、市内・府内を勝ち上がり大阪府代表として近畿大会に進出しました。近畿大会では残念ながら

ら初戦で和歌山代表に敗退したそうです。少年野球では、所属組織別や学年別などで年に30回以上の大会があるそうです。話を伺った当日も5年生の18名は大会に出場中で不在でした。

憧れのエメラルド

南津守タイガーではユニホームが学年ごとに3種類あります。6年生がエメラルド、4〜5年生が濃紺、1〜3年生が白です。実力次第では、下級生でも上級生のユニホームを着て上級生の大会にも参加することもあります。下級生は上級生のユニホームを着ることに憧れるので、自然に競争心とやる気生まれるそうです。このユニホームはチームからの支給ですが、バットとグローブは自分で準備する必要があります。野球は道具にお金がかかるので、チーム内で使い回しできるものは積極的に利用しているそうです。

親の関わりは？

前回に紹介したソフトボールと同じく、

子どものスポーツ活動では、親の参加を強く求められることが多いと聞きます。我が家でも親の参加が必須だと思っていたので、特に子どもに任意のスポーツ活動への参加を勧めてはいませんでした。しかし、南津守タイガーでは親の参加は必要ではありません。親は学年ごとに持ち回りでジャグ（大型飲料ポトル）を準備しますが、それも子どもたちが自転車の後ろカゴに積んで持参していました。また、チームのOBや希望者が面接を経て練習の指導者になるので、練習に親が参加することもないようです。

子どもたちがそれぞれ挨拶してくれたり、仲間と練習に取り組んでいる姿を見たりすると、スポーツ以外の面でも得られることがたくさんあると感じました。

練習日・平日：火水木金 休日：土日祝
部費・1〜3年生：15000円
4〜6年生：40000円
活動場所・玉出中学校・南津守コミュニティ広場、西成公園など
問い合わせ・090-6997899262 北山まで
レポート：沖田一志
寺嶋公典



(上)ヘルメットの列 (下)西淀川ヨドコウ大会で優勝(5年生)



練習風景



全員揃って(5年生は大会出場のため欠席)



[飯島照喜]酒が弱くなり、体力が衰えてきた、秋の気配が高まるとともに…。何とか、気力だけとは、奮い立たせる今日この頃だ。



[沖田一志] オフィス2007のサポート期間が今年10月10日に終了します。古いエクセルやワードをお使いの方は確認してみてください。即危険とは言いません。そろそろ更新を考えた方が良くも。



[佐々木敏明] 避暑もなく一所不在の宿に住み狂奏する蟬のむくろの少なさを

飯ユラ

メン

15軒目
『café & bar Charge』



意外と好評を博していたらしい完全主観のグルメ記事、飯ユラン。隔月連載で復活しました。西成から解放たれ、お気に入り『食』にまつわる店、人などを紹介します。



仕事で疲れたとき、なんとなく落ち込んだとき、楽しいことがあったとき、仲間と話したいなと、お酒を飲みたいと思った時、自ずと足が向くのがcafé & bar Charge。「酒」と「小粋なトーク」でおもてなしをするバー、酒場である。「MALFYはイタリア産。ジェニバーは控えめでレモンのような風味。「六」は最近注目のクラフトジン、桜や山椒など日本ならではのポタニカルが六種類、ピリッとパンチのある人気のジン」

「すっきりしない天気が続きますね。そこでこんなスカッとした青いカクテル、ターコイズブルーはいかがでしょう」と、フェイスブックに発信する

店主の栗津浩さん、酒と人をこよなく愛すパーティーンダーである。

「café & bar Charge」は一般社団法人エル・チャレンジが経営。9月からは昼も就労継続B型事業所としてレストランの営業を開始、いわば二毛

作の飲食店である。「障がい者が仕事帰りに立ち寄れるように」と午後4時開店という早さがこの店の特徴であり意義である。仕事場と家との往復で1日を過ごしがちな障がい者にとって、明日の活力を養う、まさに店名Chargeにふさわしい“サードプレイス”。思いや悩みを自由に語って相談もできるし、こうしたつぶやきが次の支援に結び付くことだってあるはず。“他の店とはちがって、ここなら気を使うことなく安心して飲める”(栗津さん)。酒の提供がタブー視されることへの挑戦ともいえる、話題のバーである。



café & bar Charge

場所：大阪市中央区内淡路町 1-3-11
電話：06-6450-6764
営業時間：Cafetime 11:30 ~ 15:00
Bar time 16:00 ~ 23:00
Close 土・日・祝日



[安田拓也] 長く冷戦状態だった妹が9月の最後にギターを弾きに楽塾に来てくれることになった。戦争になるのも、元に戻るのも、なんのこっちゃないのがきっかけ。と簡単には行かないか。



[西田吉志] ゆ〜とあいの会員さんと一緒にタコ釣りに行ってきた。魚釣りは昔から好きでよく行ってたが、タコは初めて。ボウズは嫌だと執念で1匹ゲット！そして美味しくいただきました。

阪田宗治(さかたそうじ)さん

「生涯現役」がモットーの阪田さん。時には地域機関誌の配達員、時には警備員、時には除草作業などバリバリに仕事をしている。趣味は大型バイクに乗ること。すこし前まではハーレーで全国をツーリングしていたみたいで、今でも日常生活に欠かせないバイク。他人とのつながりは色々な事を教えてもらえる。だからこれからも仕事を続けて色々な人と関わっていききたいそうです。



今月のお隣さん
独立をおそれず、紙面とこなげれる地域の輪

たぐの 3くふうたま

豊間

おん

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。

娘さんの車をずっと見送っている八十すぎのおばあちゃんの後ろ姿をみた。

「わがままやねんけどね。認知症がすこく良くなって、少しでも一緒に暮らしたいと、家に帰ってきて共に連れ添う。ばあちゃん。最近そのおばあちゃんがひと月の入院から帰って来た。治療の副作用や自転車でこけて杖をつくようになって弱気になってた。「2階に上がるのが大変なんよ。でも大家さんが良くしてくれるし、ほんまにダメになったら出ようと思つ。あのときウチの人を拾ってもらったのを、後ろ足で砂かけるような真似はできへん。だから私も娘の車で病院通つて、先ずは歩けるようにならな」。娘さんに会う日は綺麗におめか

「いたた」と足をさすり歩むその後ろ姿は、はかなくとも強く。

(安田拓也)



寄り添う2軒の家



[谷口円] 本冊子でも何度か取り上げた西成製靴塾が、卒業生を集めて「靴職人の手仕事展」を開催します。10月18～24日、阪急うめだ本店10階にて。靴好きにはたまらないイベント！



[田岡秀朋] 星野リゾートに隣接する馬淵生活館の売却先が10月末に決まる。保育所併設の自立支援型一時宿泊施設だったけど、今はまるで軍艦島。まちづくり要素を組み入れたプロボ方式とはいえ、またホテルができるのかな？



号外 マナビバ! 通信

「まずは、おいでよ。」ゆ〜とあいには中学を卒業してから進路を一緒に考える場所と時間があります。そんな“フリースペース マナビバ!”の徒然な日常をお伝えします。

マナビバは毎週火・木曜日の10:00~16:00、ゆ〜とあい2階でオープンしています。
電話:06-6561-8801 Mail:info2@human-ref.jp

外出先

先日マナビバに保護者の方が一人で相談に来られた。二十歳になるお子さんが家にずっとこもりつきりで全く外出しない。おまけに完全に昼夜逆転の生活、朝方に寝て、昼ごろ一度食事するがまた寝る。夕方起きてくる。パソコンを何時間もずっといじっている。かなり深刻な状況だ。しかしお母さんは、「この子だけ一人生活サイクルが違うんですよ」と明るくおっしゃる。

私は少しホッとする。つい、目くじらをたてて無理やり起こそうとして、プレッシャーをかけ続けトラブルになってしまふ。よくあるパターンだ。しかし相談に来られたお母さんは、子どもを温かく見守っていらっしやる。ただ親としては、なんとか外出して欲しい気持ちもある。その外出先の候補の一つとしてマナビバに声をかけていただいた。ありがたいことだ。
フリースペース「マナビバ!」は3年目を迎えたが、まだまだ世間の認

知は十分でない。しかし、こういったケースで何かの役に立てる可能性があり、居場所としての存在意義はある。本人の趣味や関心をお聞きした。いくら聞いてもほとんど家の中で解決してしまう。外出のきっかけを見つめるのが困難なケースに苦慮する。とりあえずお母さんと定期的に連絡をとること、月刊「マナビバ通信」を郵送することをお話した。マナビバのスタッフの一人が本人と知り合いの可能性がただけが一縷の望みだ。なんとか外出のきっかけになればと思う。 文責: 阪井 茂



い湯かげん

市大調査とボク達の90年白書

いま、ちよつとした話題になっ

ている大阪市大による大阪市生活保護者ビッグデータ解析(以下「市大調査」と略す)報告書を見ながら、ボクは、27年前の「1990年西成地区生活白書」(以下「90年白書」と略す)を編集した記憶を重ね合わせた。元々は、大阪府による同和地区実態調査で、分析も大阪府がやってくれたのだが、ボク達はその満足できず、西成地区分を抜き出し、憑かれたように無謀な作業に相当な時間を費やした。その訳は、当時、同和対策という手法に行き詰まり感を覚え、「老朽密集市街地再開発」というオルタナティブ(もう一つの)を温め、その進路を確かめたいという思いか

らだった。

その無謀な作業でボク達が探り当てた「定住性の高いはずの同和地区人口の2割が流出入する現象」と「同和住宅や老朽賃貸住宅を舞台にした貧困と困難の一方通行現象」は、後のまちづくり活動に随分役立つことになった。それは、市大調査の「福祉マグネット」とトランポリン仮説にも通底している。学問的仮説の持ち合わせなどなかったが、ボク達の調査への反応は早かった。松岡徹さん(当時市会議員)は、同和住宅での「事故(不正)入居」を住民自ら検証は正し、応能応益家賃まで提案した。一方で、老朽賃貸住宅の共同建替事業を發案、全国で初めての家賃

助成制度を国に働きかけた。住宅改良事業の継続事業への住民参加も發案した。そして、ボク達は、高齢者、障害者、母子父子家庭、在日コリアン、失業者、健康等々、立て続けに住民独自の調査を実施し、その一方で、在宅介護地域ネットワークや毎日型配食サービス、障害者の就労支援事業、高齢者生きがい労働事業団、自立就労支援事業(後の大阪府地域就労支援事業の原型)等の住民主導の新規事業を次々と実践していった。

市大調査は、半年を区切りにした福祉(生活保護、マグネット)引き寄せ機能率を、男性で19.8%、女性で10.6%と数値化し、同時に、良くも悪くも受給期間は短く、それだけの人々が大阪市の福祉を舞台に「往還している」と報告している。また、2010年に激増した生活保護の「その他世帯高齢者障害者、傷病者、母子家庭でない」へのトランポリン(福祉から就労

へ)機能率は、「単身その他」で20.1%で、平野区41.9%、東淀川区39.1%など地域差も顕著だが、

西成区政会議の「教育部会」に関連して文部科学省の事業を調べていた。西成区の子育て支援部会は大阪市教育委員会にスクールソーシャルワーカー(SSW)の配置増員を求めており、文科省でも中学校へのSSWの全国配置を目標にしているようだ。また、西成区が「子ども学びサポート事業」をモデル実施し成果を上げている一方で、文科省の「家庭教育支援事業」も継続実施が見込まれる。これら国の施策は面白いし、私たちの考えと一致すると思う。

こうした一致は追い風になるかと思いきや、大阪市からは満足いく回答を得られていない。地方公共団体の担当部局はうまく機能しないようだ。現場を抱えている区の担当者にはある種のもどかしさがあるではないか? 区の担当者や私たちは現場のための事業や制度を考えている。だからこそ、市や区の皆さんともしっかりと話し合っ政策を作ればなあ、と最近よく思うのである。(寺本良弘)

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



㈱ナイス代表取締役 富田一幸



人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからは「い湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

効果を確信するまでの結果は得られなかったと報告している。
ボクは、90年白書の同和住宅と賃貸住宅を福祉(生活保護)に置き換え、数値化されにくい往還する人々の「貧困を包含する困難」と、それでも、西成地区で障害者や在日コリアン等を少なからず「定住化」に導いた「まちづくり(オルタナティブな福祉や新しい互助)」のあれこれを想像した。そして、大都市の密集市街地問題にヒットしながら、その後のまちづくりがラセン階段だったことを省みた。ボクが、いま、総合区分権等大都市制度に強い関心を持っている理由に、そんな振り返りがある。

[山村裕太]とある取り組みに参加すると必ず運のないことがおこる。今回は自転車盗難+車のドアで頭をぶつけて流血。しかし、ギャンブル運は良くなる。不思議。



[若松司]編集部で『なび』のフェイスブックをつくってみた。Web上に『なび』を載せることにあまり肯定的ではなかったが、「投稿してみたのかな」と思い始めているのが不思議。



地域の縁を心でつなぐ

心の時間

私の座右の銘の一つに「出会いが人を育て、別れが人を深めていく」があります。若いころのある日、昼過ぎに月参りに行きますと、その家のご婦人が、朝にお供えしたお飯を茶漬けにして、幸せそうに食べておられました。言葉にできない美しいお姿でした。食べているお姿から仏様を大切にしている「心」が見えたのです。「心」次第で、お茶漬け一杯が、どんな高価な食材よりも、貴いお食事になることを知りました。

多くの方々に育てていただいて、今があります。しかし出合いの数とただ悲しい別れがやってきました。それでも、初めて分かる世界があることを知りました。私は二年前に父と別れました。父の存命中は、自分が一生懸命努力したから今の私があると思っていました。大きな間違いです。父が温かく見守っていてくれたお陰で、どうにかやって来られたのです。父の生前に「ありがとう」と言えなかったことを後悔しております。こんな思いは二度としたくないので、「強く、正しく、優しく生きていきます。これは父が命と引き換えに残してくれた「宝」です。

松向寺 通法

差別を受けた時の第3の対応

8月26日、にしなり隣保館で竹井正和さん(56歳、北津守小学校・鶴見橋中学校卒)の講演会が行われた。竹井さんは高校卒業後、紆余曲折を経て出版の世界に入り自ら会社を立ち上げ、テレビに取り上げられるほど有名になった(講演会があるまで知りませんでした)が、たくさん差別を受けてきた。しかし、「お前は部落なんか?」と言われた時、「それは差別発言やる!」と怒るでもなく、無視するでもなく、^{はらわた}腸を煮えくり返らせながらも極めてフラットに「そうやけど、だからどうしたん?」と聞き返し、部落のことをいろいろ言われても「部落(出身者)でもそうでなくても悪い奴は悪いし、いい奴はいい奴。そんなこと言うやつはカスや!」と答えてきたという。差別を受けた時の対応が個人任せになってしまっている現状、「差別とどんな風に聞えばいいのかわからない」、「言われっぱなしは嫌だ」という人には効果的だと感じた。

COUNT 2.99

隣保館などで事業を行う中で感じたことをつぶやいて、西成のまちづくりに役立てていきます!



なび編集長 寺嶋公典



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか?お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 10月号(vol.128)
発行日:2017年10月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
発行人:代表取締役 富田一幸
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:寺嶋公典
編集:飯島照喜、沖田一志、佐々木敏明、田岡秀朋、西田吉志、安田拓也、山村裕太、若松司(あいうえお順)
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook



facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>